

環境活動団体票

だんたいめい 団体名	とくていひ えいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人はち			
所在地	尼崎市潮江2丁目21-8			
代表者	役職・氏名	代表理事 田中 秀則		
	住所	—		
連絡先	TEL	06-7162-1080	FAX	06-7162-1080
	E-mail	npo.hachi@gmail.com		
	担当者氏名	田中 秀則		
設立年月日	2017年11月7日			
会員・構成員数	正会員11名・賛助会員58名・協力会員・28名			
団体の目的	持続可能な社会創りとそれを目指すためのコミュニティーの構築。自然環境の修復と自然と人との共生の実現。			
主な活動場所	兵庫県・香川県・京都府・フィリピン国			
主な活動内容	自主上映会やマーケット・マルシェを通じて人と人との繋がりを創出し、多様な考え方がある事を知る事。自然農、自給農を通じて自然環境と人との暮らし方は密接なモノであり、自然循環の仕組みに沿った学びの場の創出。空き地や施設の利活用を提案し、地域住民にとっても社会にとっても意味のある活用を促す活動。居場所のない子どもたちや親子に新鮮な学びを与え、自らが暮らしたい風景を自分たちで創っていく取り組みの提供。			
安全対策	国の方針に則りつつ、健康の観点も鑑みながらの対応。			
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自主上映会の開催（2021年～2022年計85回） ・マーケット&マルシェの企画開催（多数） ・自給農を学ぶ学校の開設（2022年農楽苑開校） ・空き地の利活用（2021年川西市けやき坂果樹園づくり） ・フィリピン農業従事者への技術指導（2022年8月より二年間） ・空き家活用と居場所創りを合わせた【あな・ホリ】の準備中 ・成徳小学校での環境学習（2021年～2022年対象6年生） 			
団体のHP	hachi8008.org			

その他 PR 等



◆尼崎市立成徳小学校での環境学習

※あまがさき環境オープンカレッジ連携事業

小学生が発する素朴な疑問は時にハッとさせられる。子どもたちが知らないという事はその世代の親も知らないと言う可能性がある。親子共に参加できる生物多様性ガイドツアーなどの企画を通じて、或いは自給農の学校を通じて広く発信して行こうと思わされた瞬間。



◆遊休地の利活用

※川西市けやき坂（コープこうべ建設予定地）に於ける果樹のある緑化公園

長く放置されてきた遊休地の利活用として果樹のある公園創りを行った。公園内には犬の散歩コース、ピザ窯、かまどなどを配し、今では地域住民が野菜市を開催したり、かまどご飯の炊き出しを行ったりと地域交流の拠点となりつつある。造成地であった遊休地が今では多様な植生が戻り、草の種類も一年毎に増えつつある。

◆あな★ホリ（Another Holiday）

～週末大家族～の取り組み

子どもたちや親子の新しい居場所発見のきっかけづくり。都会で感じる【働き方】と少し趣の違った【働き方】の発見と自分自身が居心地のいい居場所の創出を狙った取り組みで、現在、高松、淡路島、舞鶴、京丹波、三木と全6か所の居場所を創出。手前改装、手前修繕を施すところから関わっていただき、様々な知識と経験を積める仕組みづくりを行っている。



◆農楽苑（講師の居ない農学校）

耕作放棄地や休耕田を利活用し、自給農を広める取り組み。兵庫県三木市志染町戸田地区に於ける里山整備や高齢化する里山での取り組みも同時に行い、世代間交流、都市部と里山との交流から持続可能な社会創りへとつなげていく実験。現在では野菜女子部など派生グループも多数生まれ、それぞれの関心の高い取り組みへとシフトしていきつつある。来年度は地域ヤギの飼育を奨めていく。

◆JICA 草の根市民技術協力事業（フィリピン国アラバング州バンゲッド市での農業技術の指導）

フィリピンの山間部に於ける自給農をベースとした農業技術指導。温暖な気候と雨季、乾季の差が激しい地域ではあるがその土地の特性を活かしつつ、販売に適した作物の栽培やその土地の地力を上げる農法を指導している。

